

第1回上島町保護者座談会

上島町の学校統廃合

今どうなってるの？
これからどうする？

2026年3月16日 せとうち交流館

ローカルデモクラシー研究所 壬生優子

<https://localdem.com>

自己紹介

壬生 優子 (みぶ ゆうこ)



- 2013年に移住、弓削在住
- 弁理士、農家、
 - 毎年弓削小1年生がヤギと鶏たちに出会いに来てくれます
 - 弓削商船高専の非常勤講師で5年間法学 (憲法・民法他)
 - ローカルデモクラシー研究所 <https://localdem.com> で学校統廃合関連の情報発信中



2月	考える会発行「上島町保育所・学校再編たより」第6号発行	知らせる
	考える会が、議長宛てに「審議会の開催を求める」請願提出	意見する
	考える会主催、第3回学習会「岩城小中学校の未来トーク」開催	学ぶ
	第10回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
2026年 1月	考える会が、教育長と町長宛てに「岩城小中学校の存続求める」岩城事業	意見する
	考える会が、教育長宛てに「審議会の開催を求める」意見書提出	意見する
	考える会発行「上島町保育所・学校再編たより」第5号	知らせる
	第9回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
12月	学校の在り方検討委員会委員長がを教育委員会へ 提言書 提出	
	第8回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
	第7回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
2025/11/28	考える会が教育長へ「再度の協議を求める」要望書提出	意見する
11月	岩城CS会長が教育長へ「再度の協議を求める」意見書提出	意見する
	第6回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
	第5回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
	考える会発行「上島町保育所・学校再編たより」第4号	知らせる
	考える会主催、第2回学習会「学校がなくなったらどうなる？」開催	学ぶ
	第4回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
10月	考える会コア会議	学ぶ
	第3回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ
	岩城CS会長（兼考える会会長）が連名で、教育長へ「学習会での説明・情	意見する
	岩城/生名/弓削CS3会長が連名で、教育長へ「CS・住民への説明を求める	意見する
	考える会発行「上島町保育所・学校再編たより」第3号	知らせる
	第6回上島町学校の在り方検討委員会	
	考える会発行「上島町保育所・学校再編たより」臨時号	知らせる
	考える会主催、第1回「学校統廃合に関する学習会」開催	学ぶ
	岩城CS会長が公文書公開請求	学ぶ
	岩城CS会長名で教育長へ「住民への説明を求める」要望書 提出	情報収集
	CS3会長連名で教育長へ「住民への説明を求める」要望書 提出	意見する
	第3回上島町保育所・学校再編たより	知らせる
第2回岩城小中学校の統廃合を考える会	学ぶ	
2025年 9月	第2回上島町保育所・学校再編たより	知らせる
	岩城小中学校の統廃合を考える会 結成	学ぶ
	まちづくり懇談会@岩城支所2F	





町、住民意見を事実上"黙殺"!? —2月説明会でも事態動かず

教育委員会は2月10日、**上島町学校適正配置基本計画説明会**を開催し、**76人の住民**が参加しました。事務局は、当日配布の基本計画骨子案を説明し、住民の質問・意見を受けました。非常に多くの意見を受けて、教育長は、再度説明会を行うと述べ、閉会となりました。

岩城・生名・弓削小中学校適正配置の検討状況

現在



1. 基本計画の内容

骨子案が示す基本計画の内容は、検討委提言書の意見に示されていた次の3点でした。

- ①**弓削・生名・岩城の小学校**は、R10年度に3校を1校に統合。弓削小施設を活用。
- ②**弓削・岩城の中学校**は、R11年度2校を1校に統合。弓削小施設を活用。
- ③**魚島小中学校**は離島留学制度を活用し小中一貫校として存続。



2. 住民の質問・意見

住民から出された質問・意見を抜粋し、以下にまとめました。

検討不足が明らかになりました。

3. 学校の現状や課題に向き合っているか

「学校の現状や課題」をどのように把握していたのでしょうか。

学校適正配置基本計画説明会における住民の質問等(抜粋) 1/2

1 この説明会について

- 1.1 まず説明会の告知が間際すぎ、告知方法が不適切。資料は事前配布すべき。
- 1.2 説明会の骨子案の出所は？教育委員が知らない。
- 1.3 町村合併から20年、国も統廃合を進めて20年。今の進め方では時代錯誤では。
- 1.4 住民の意見を聴き、ある程度納得できるような進め方を望む。
- 1.5 多くの意見が出た。書いてあることは変更できないのか。

2 統廃合の決め方

- 2.1 統合を急ぐ理由は？財政か？
- 2.2 最終決めるのは誰か？
- 2.3 学校審議会はいつ開くのか。開催の要望書を出している。
- 2.4 住民からの要望書5通に一切回答なく説明会を開いたのはなぜか。
- 2.5 子ども基本法に子どもの声を聴くことと謳われているが守らないのか？
- 2.6 耐震や耐用年数は廃校の理由にならない。短絡的。前からわかっていたこと。
- 2.7 何が何でも1校統合なら、真ん中の生名ではないか。
- 2.8 生名は統合、岩城は維持希望が多い。異なる両者の意見を聴いてほしい。
- 2.9 町は頑なに変えないというが、各島で説明し、住民の判断を聴いてほしい。

3 検討委の進め方

- 3.1 あり方検討委員会の提言書は一本化に偏り過ぎた。もっと意見は多くあった。
- 3.2 事務局は、会議中の誘導的な発言、提言書の作文、が多すぎた。
- 3.3 提言書は全委員が承認したものでない(承認10：不承認7)。なぜ急ぐのか。



知ってほしい。

意見を交わしてほしい。

これからの町のために。



上島町の学校統廃合

今どうなってるの？

- ①学校の在り方検討委員会をふりかえる
- ②上島町内の学校を見わたしてみる

これからどうする？



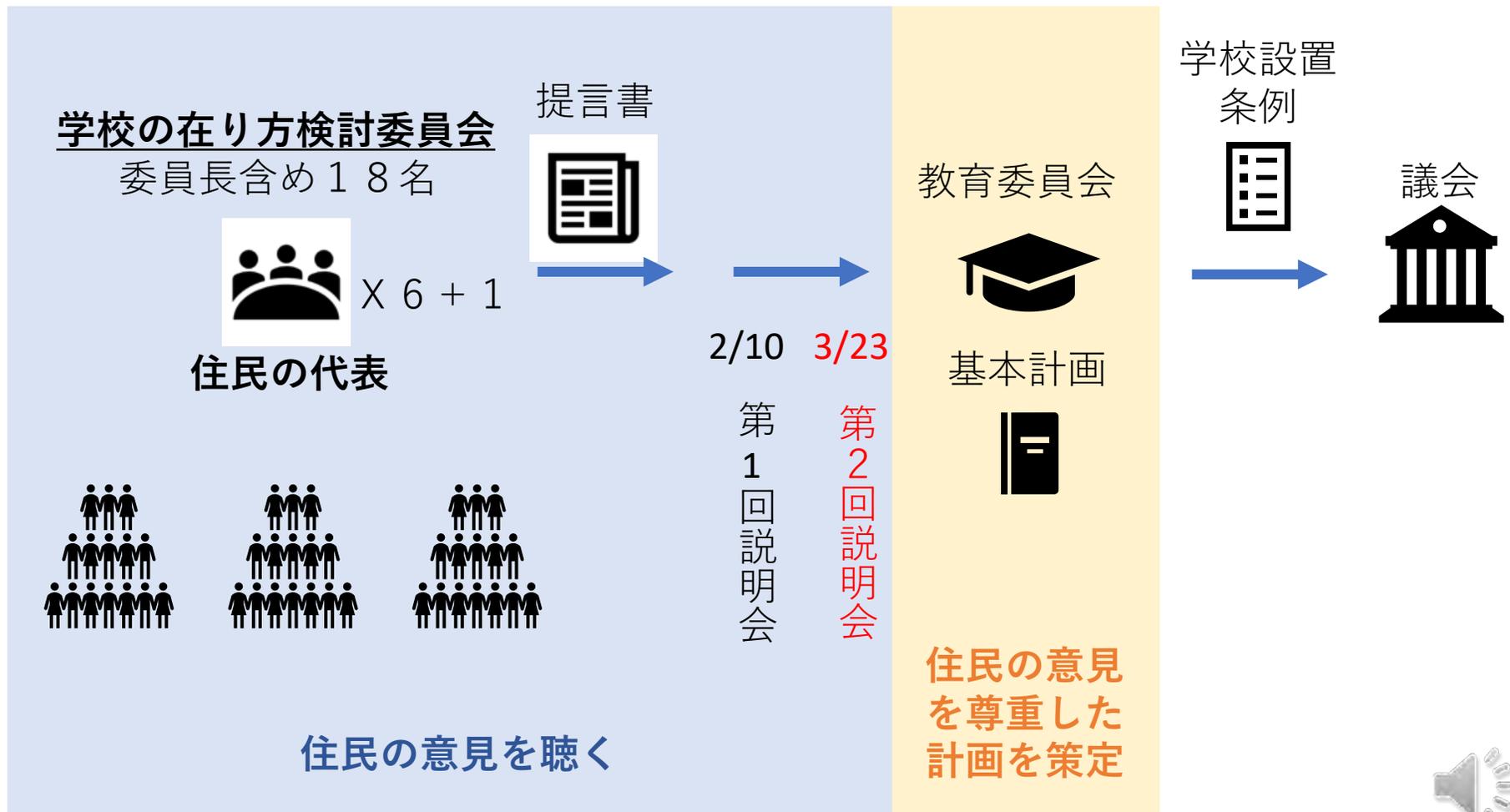
今どうなっている①

学校の在り方検討委員会

をふりかえる

学校の在り方検討委員会とは

住民の意見を尊重した決め方



学校の在り方検討委員会(第2期)提言書

令和7年12月22日に提出された提言書の概要

○ 弓削小学校・生名小学校・岩城小学校について

既存施設を活用し、**令和10年度に1校**への統合を目指すこと、弓削小学校の施設を活用することが適当である。

○ 弓削中学校・岩城中学校について

既存施設を活用し、小学校との連動を踏まえ、令和11年度に1校への統合を目指すこと、弓削中学校の施設を活用することが適当である。

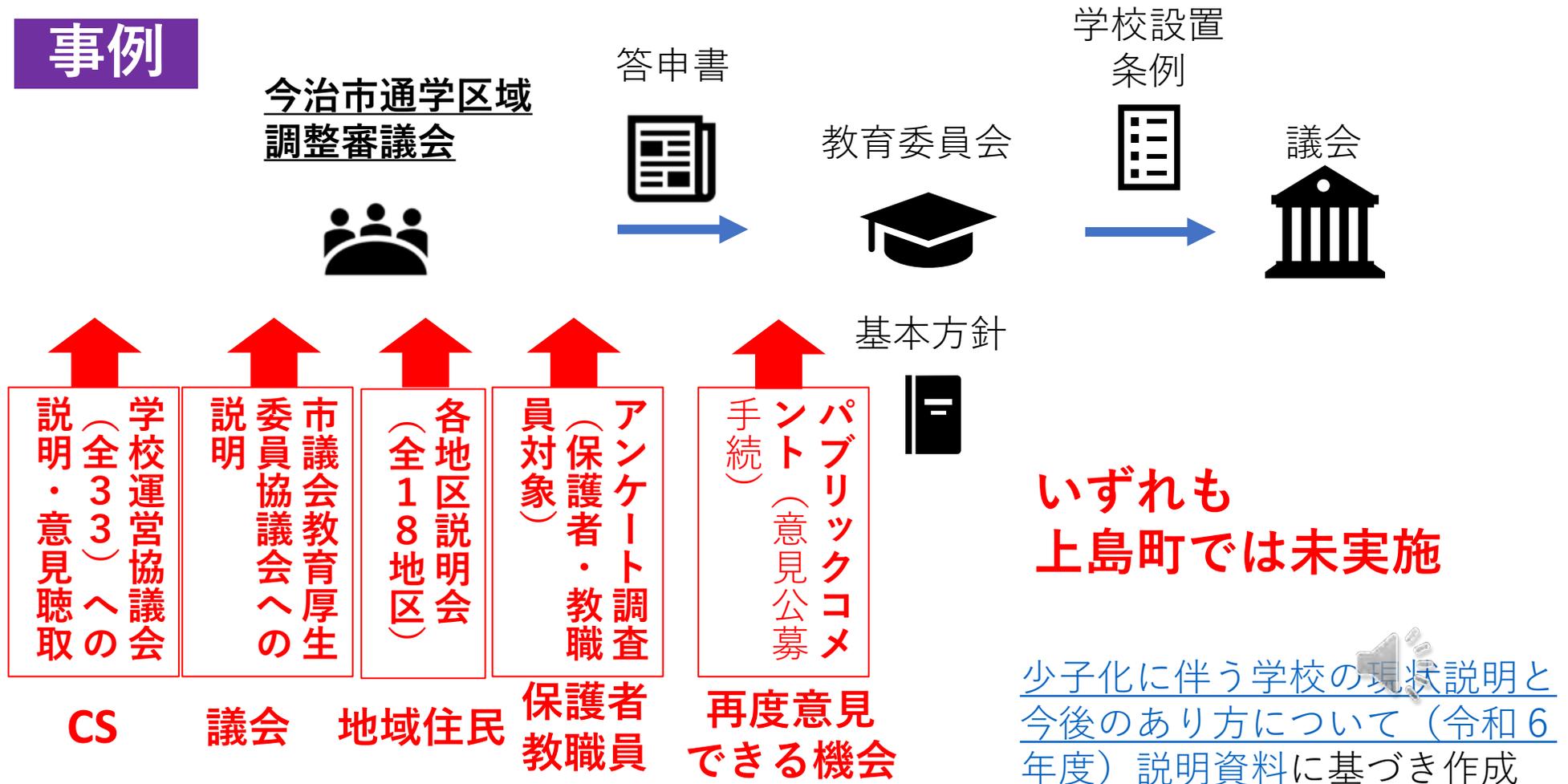
○ 魚島小・中学校について

今後も、離島留学制度（さざなみ留学）を活用して、小中一貫校として学校存続を目指すことが適当である。

進め方の問題 1

住民への説明・意見聴取が**圧倒的に**足りていない

事例



今回の上島町のケースのように、**アンケート調査を実施せず、検討委員会に議論を一任**してしまうことは、**公正さを欠くおそれ**があるといえます。

(松山大学人文学部社会学科・市川虎彦教授)

「委員会が、**統廃合ありきの委員会**というふうに、受け止められても仕方なくなってしまうと思います」

委員の発言

@第1回会議録

「**本当は結論がきまっているのではないかと保護者は思う**」

行政に必要となるのは、「丁寧な説明」だけではありません。**誰の声をどのような方法で聞き、それをどのように計画に反映したのか、**明確にすることです。



2022年第1期に教育委員会が実施したアンケート

こどもたちの学校への思いを丁寧に引き出し、最後に統廃合への意見を尋ねています。

問1 あなたの学校のあてはまる学年に、○をつけてください。

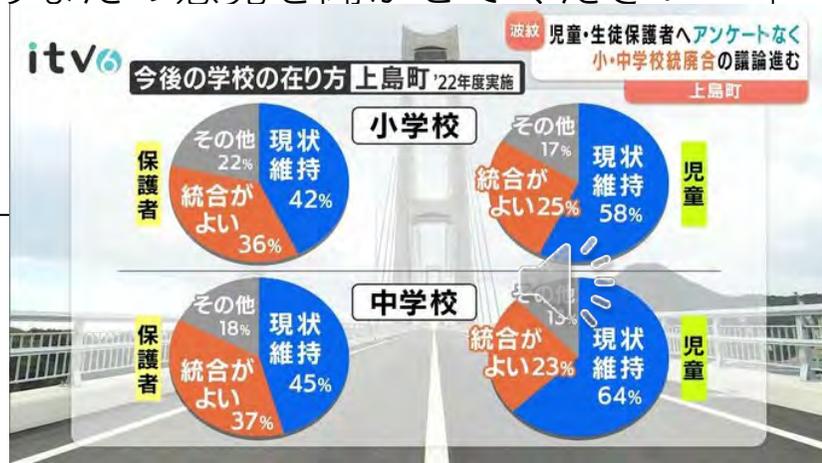
問2 あなたがこれから学校でがんばりたいことについて、項目ごとにあてはまる番号を1つえらんでください（11の項目ごとに3択で回答）。

問3 あなたの学校のいいところ、自慢できるところを自由に書いてください。

問4 あなたの学校や学級のもっとよくしたいところ、よくなってほしいところがあれば書いてください。

問5 これからの上島町の学校の在り方について、あなたの意見を聞かせてください（4択。その他に記述）。

第2期で岩城住民が岩城小中に実施したアンケートも同様の様式を活用しました。



委員は、文科省指針や事例を学ぶ機会なく議論へ

事例

一般に、審議会スケジュール確認、H27文科省手引・他の事例紹介を学ぶことから始める

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引
～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～

平成27年1月27日

文 部 科 学 省



上島町と同規模の久万高原町は児童数減でも統合なし

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

久万高原町には、幼稚園9園、小中学校11校（小学校9校、中学校2校）を設置しています。人口は少ないものの面積及び交通条件からすると、配置バランスは確保されています。また、**どの地域からも学校存続の意見が強く、現在配置を維持していく方針を第一**としています。

<学校数推移>

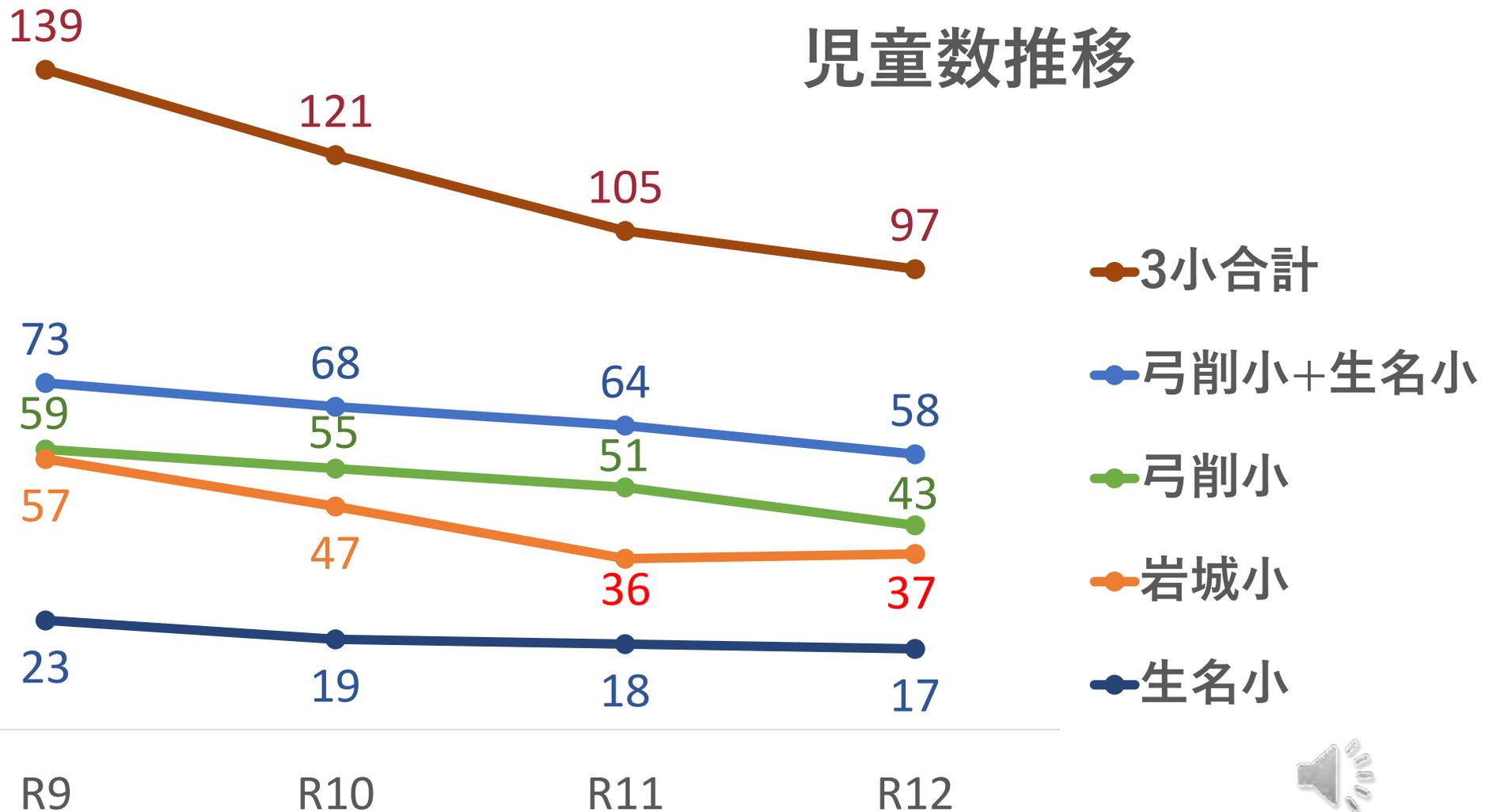
学校数

	これまでの推移							今後の推計	
	H12年	H16年 (町村合併)	H20年	H24年	H27年	H30年	R元年	R5年	R10年
小学校	14	10	9	9	9	9	9	9	9
中学校	4	4	4	3	2	2	2	2	2

小中学校 児童生徒数推移



弓削・生名・岩城小学校 児童数推移



進め方の問題3

教育委員会はたたき台も用意せず**委員に丸投げ**

@第1回会議録

委員

教育委員会が具体的な案や方向性を出すべき

事務局

各学校や地域等から具体的な案を出してもらいたい

進め方の問題4

個々のアンケートは一部団体の口頭報告のみ

@第2回会議録

- 各団体が集会・個別のアンケートの結果を口頭で報告
- 2地区、1保育所、3中学は集約した意見報告なし**

委員

- 事務局でまとめたものを出すべきである。
- 町内共通のアンケートを教育委員会からしてほしかった

事務局

(無回答)

進め方の問題 5

情報発信が貧弱すぎる

上島町HP上の情報

- 学校の在り方検討委員会
第1回～第6回会議録
(概要)
- 学校の在り方検討委員会
(第2期)提言書
 - 児童生徒数の推移
 - 町内学校施設状況
 - 小中学校統合資料

事例

- 検討委員会の会議内容などを知らせるたよりやニュースレター
- 各回の検討委員会の会議資料
- 住民説明会の当日配布資料
- 住民説明会のプレゼン資料
- 学校運営協議会への説明資料
- 各種説明会で住民から出された意見
- アンケートの結果



NEWS LETTER

No.5



- 本市の児童生徒は年々減少傾向にあり、加えて学校施設の老朽化が進んでいることから、子どもたちにとってより良い教育環境の見直しや整備が求められます。
- 本市では、未来を担う子どもたちが、心豊かでたくましく自立した人間として育つよう、市内すべての小中学校を対象とした具体的な学校の再編や建替について「各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会」において、調査・審議を進めています。

第5回各務原市学校適正規模・適正配置等検討委員会を開催しました

令和8年2月27日に各務原市産業文化センターにおいて第5回の検討委員会を開催しました。

先進事例の視察結果や基本計画（改定版）等について協議しました

スマート連絡帳を通じたアンケートでは、次のような意見が出されました。

- ・小規模校の解消は必要で、複数のクラスがあった方がよい。
- ・スクールバスの導入は、メリットが大きいと思う。
- ・スクールバスの運用方法の検討が必要だと思う。

VI. 学校の適正規模・適正配置を進めるうえでの留意点 2. 通学環境・通学手段への配慮

第5回委員会で出された主な意見を紹介します

- ・小中一貫校は、9年間を通して育てることのできる安心感や早い段階からの教科担任制の導入が特によいと感じた。自分の子どもも義務教育学校にぜひ通わせたいと感じた。

検討委員会の資料等をウェブサイトで公開していますのでご覧ください。（右記二次元バーコードより）

【お問合せ先】各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進課

TEL：058-383-7302（直通） E-mail：kyseibi@city.kakamigahara.gifu.jp



進め方の問題 6

小学校 1 校、中学校 1 校を目指すとした経緯が極めて恣意的。

①場所等を選ぶ中で1校か2校か現状か話し合う、という提案があった

第 2 回会議

委員

各島に1校ずつ小学校があってもいいのではないか。

委員

小、中1校はわからない。場所等を選ぶ中で1校か2校か現状かを話し合うべきではないか。

第 3 回会議

事務局

小学校1校、中学校1校での統合を目指すことにしたい。
答申に記載してよろしいか。

②岩城小は、今日決められない、まだ悩んでいると訴えていた

第 3 回会議

委員

小学校1校、中学校1校というのは、岩城小は、今日決められない。

委員

岩城小はまだ、悩んでいる。



③①②を検討せず、委員長と事務局は小1・中1案を押し通した

第3回会議

事務局

本日、一つの方向性が出た。中学校に関して、事務局としては、小学校との連結を考慮し、11年度で考えているが、そこを目指すとしてよろしいか。

④中学校を統合する必要性も、時期も、根拠なく説明も不明瞭。

第3回会議

副委員長と事務局

発言概要

中3の生徒数が36人なのでR10年統合で2クラスになる可能性があるが、R11年に統合すれば1クラスですむので、R11年統合で。



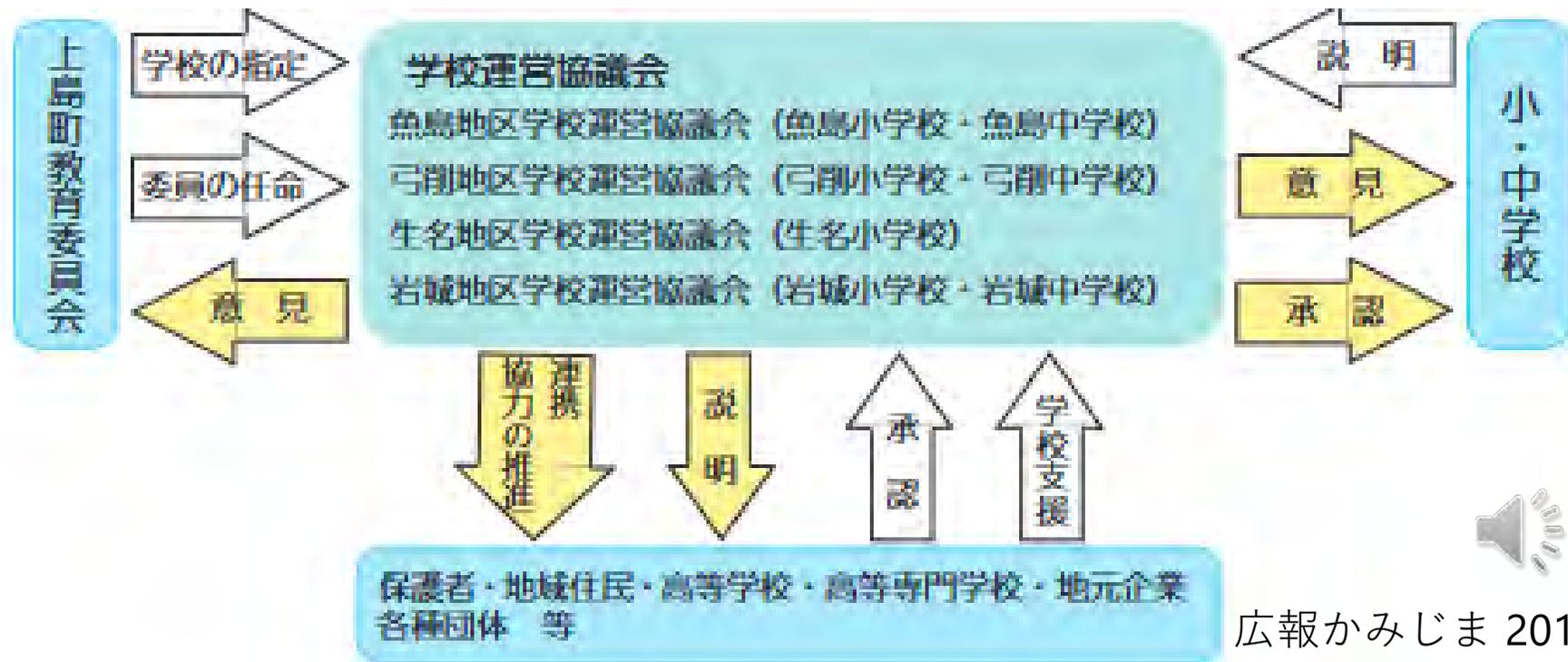
進め方の問題7

学校運営協議会会長が委員でない。最後の会議で傍聴席からの発言許可を求めるも、委員長は無視。

第6回会議録（概要）

学校運営に関する「基本的な方針の承認」を行い、「学校や教育委員会への意見の申出」、「教職員の任用に関する意見の申出」を行う法律上の権限を有する

コミュニティスクール：CS



進め方の問題 8

学校統廃合の当事者であるこどもの意見を 町は聴こうとしない

こども基本法：第11条（こども施策に対するこども等の意見の反映）

第十一条 国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

児童の権利に関する条約

子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。

こどもが意見をもつための事前説明も町の義務



議場で小中学生代表に発言させる取組み

小中学生が議場に立つ姿、見てみませんか

2024

学校統合に係る 児童生徒意見発表会

5



[学校統合に係る児童生徒
意見発表会 開催案内](#)



「みんなで、議場で語ろう」

- 令和6年5月18日(土)10:00START
- 嵐山町役場庁舎2階 議場
- 参観自由(傍聴席で傍聴もしくは役場町民ホールで配信映像の視聴)
- 町内各公立小中学校の代表者 全24名
- 「これからの嵐山町の新しい学校について」

主 催：嵐山町教育委員会 嵐山町校長会・教頭会 後援：嵐山町議会
問合せ 嵐山町教育委員会 教育総務課 ☎0493(62)0823



進め方の問題 9

条例に基づく上島町学校教育問題審議会が 開催されていない

2006	2007（平成19）年												2008年	
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-3月	4月
	上島町学校教育問題審議会				答申	説明会		総合準備委員会					学校廃止届	学校統合

生名中
統合

条例

規則

要綱

上島町学校問題審議会**条例**

法的拘束力あり

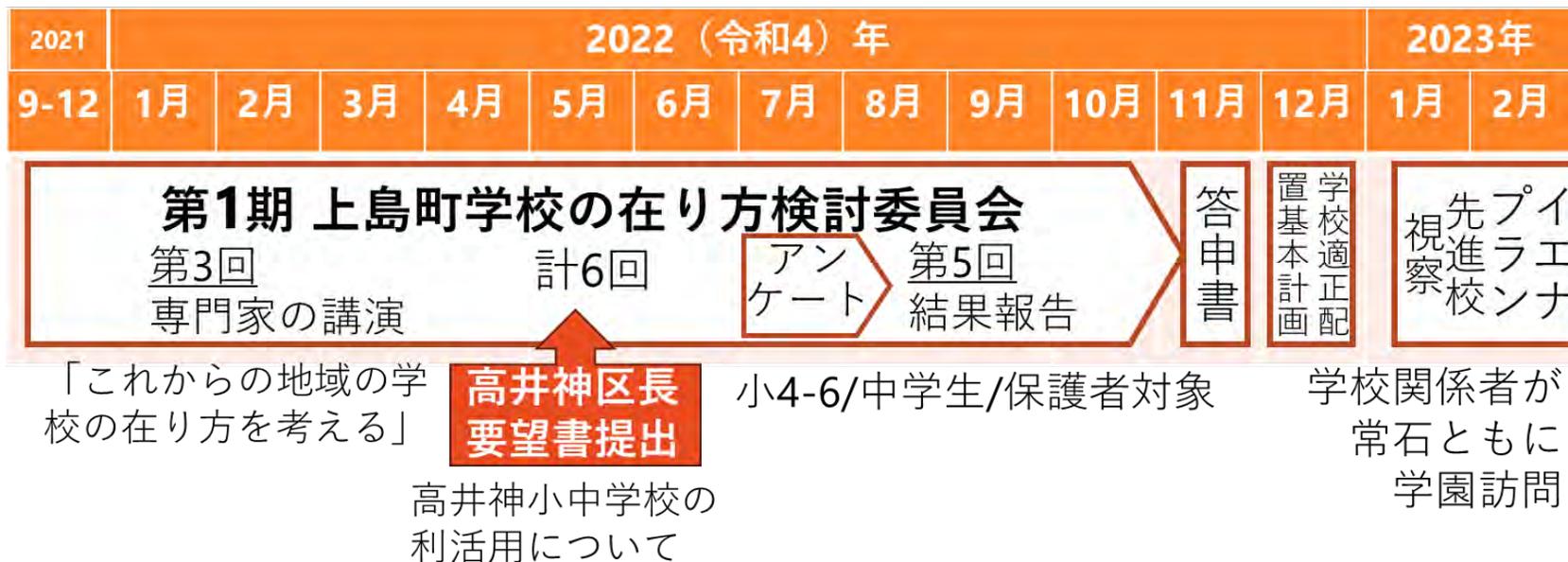
法的拘束力なし

上島町学校の在り方検討委員会**要綱**



第1期検討委の結論は、学校の**廃校**と**存続**であって、**統合**ではなかった。

第1期 検討委

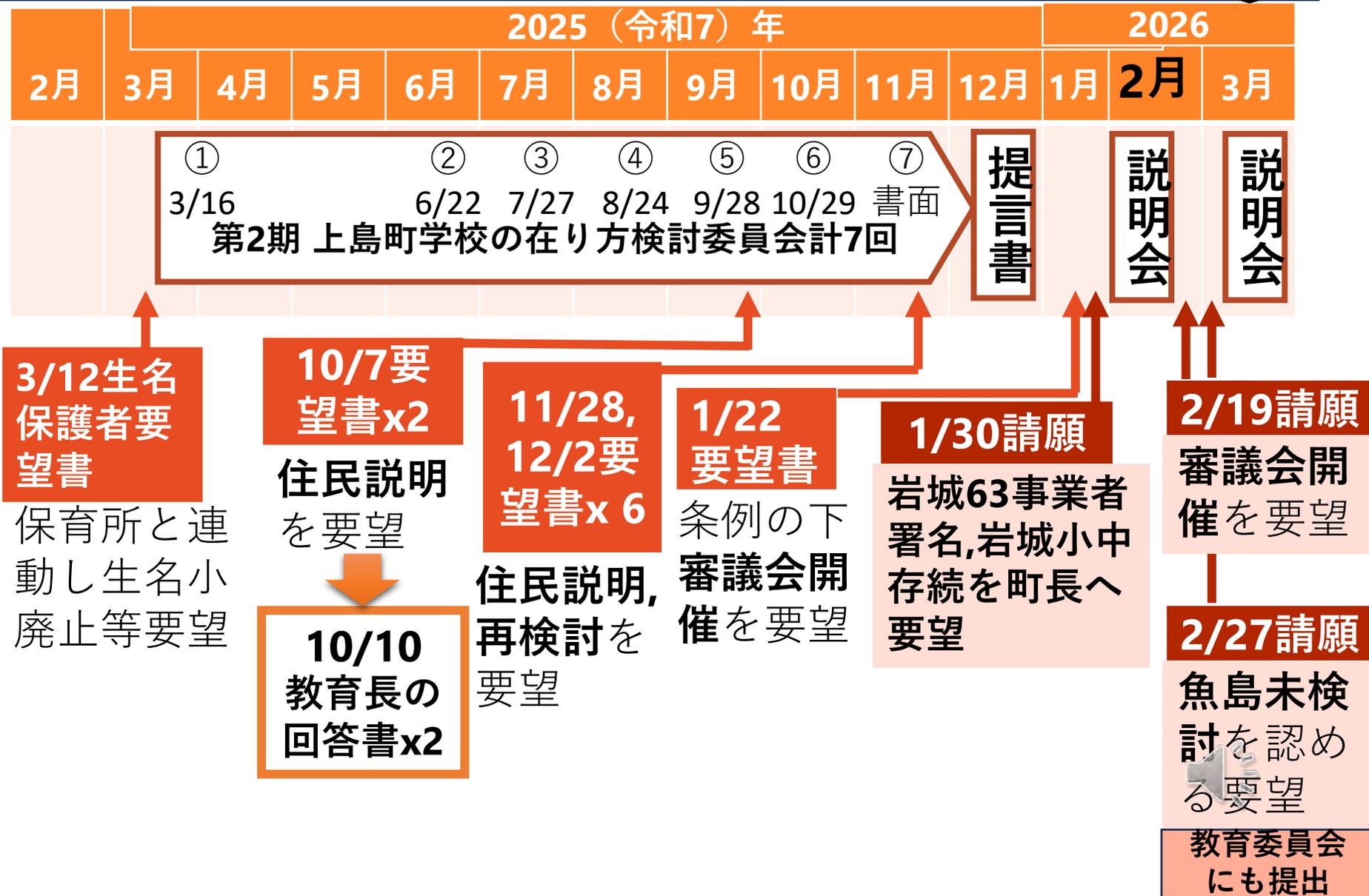


第2期検討委は、**5校もの統廃合**が関わる**事案**であり、**条例に基づき適切に協議**されるべきではないか。

進め方の問題 10

住民の意見がことごとく無視されている

今



議会

賛成3,反対8で不採択。

教育委員会

3/3教育委員会定例会、総合教育
会議で全く触れず。

第6回会議録（要旨）

委員

魚島小中についてあまり
議論できていない。

委員

魚島小中について議論
されていない

事務局

離島留学協議会で存続
の方向性が出ている

2/27付
教育委員会宛

令和8年2月27日

請願書

上島町教育委員会 様

提出者

壬生優子 印

魚島小中は未検討

件名 上島町小中学校統廃合（魚島小・中学校）に関する請願

趣旨

町教育委員会事務局は、2月10日に上島町学校適正配置基本計画説明会（以下「説明会」という）を開催し、基本計画の骨子案を公表した。骨子案II 3には、魚島小・中学校を存続する旨記載され、基本計画の内容の一つとして説明された。しかし、第2期上島町学校の在り方検討委員会（以下「検討委員会」）は魚島小・中学校の存続について一切検討していない。

第6回検討委員会の開会早々、事務局は「魚島小中は現在のまま行う」と発言した（第6回会議録1頁）。その後、委員2名が相次ぎ「本会としてA小・中に対する在り方を検討すべきではないか。」「A小・中について議論がされていないことを気にしている。」と発言し、ここまで魚島小中の存続について議論されていないとの認識を明らかにした。事務局から「魚島の離島留学協議会で議論され存続の方向で進めている。」旨の情報が提供されたが、その後も議論は行われなかった（同7頁）。検討委員会は、午後7時開始だった第6回に魚島の委員は不在で、その後議論の機会もないまま、閉会している。

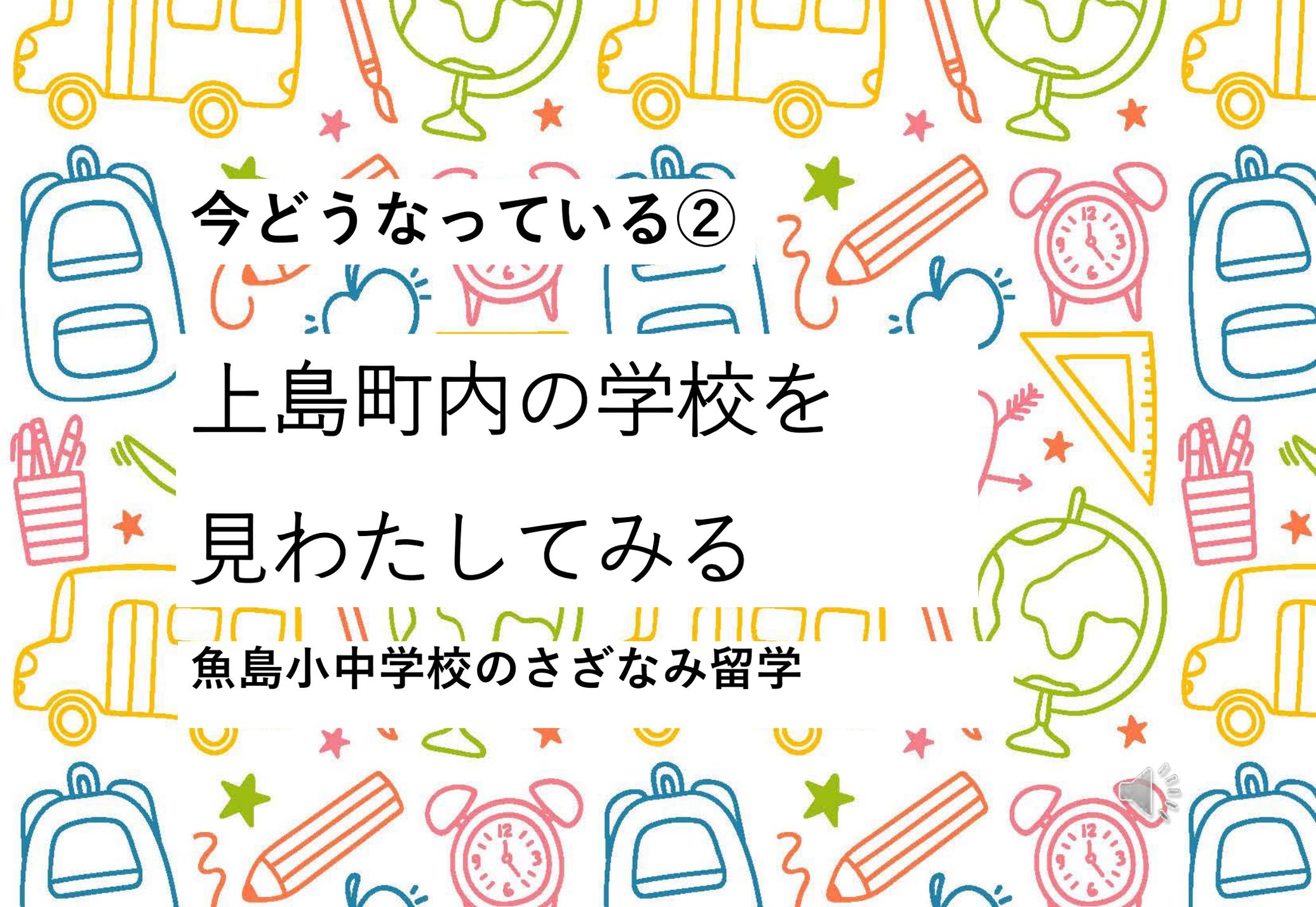
検討委員会が提出した提言書は、10対7の多数決によるものであり、委員間で合意形成があったとは言い難い。検討委員会で一度も検討していないとの委員が認識し指摘もしているが、事務局は「魚島小中は現在のまま行う」と述べ、提言書案に記載し、過半数が承認したことを理由に提言書を確定させた。このような事務局の進め方は極めて恣意的であり、委員を混乱させ、公平な議論を損なう、信義にもとる行為である。提言書に記された魚島小・中学校の存続に関する内容を、検討委員会の意見と誤認したまま基本計画に反映させることは、本来なされるべき検討の機会を損なうものであり、誠意ある対応とは言えない。

なお、魚島小・中学校はいわゆる小中一貫校ではないこと確認している。町民に誤解を与えることのないよう、用語の使用には今後留意されたい。

請願事項

検討委員会が魚島小・中学校の存続について検討していなかったこと認め、上島町学校適正配置基本計画に、魚島小・中学校を存続する旨の記載はしないでいただきたい。





今どうなっている②

上島町内の学校を

見わたしてみる

魚島小中学校のさざなみ留学

町の施策との矛盾 1

岩城小より古い魚島小の存否は問われていない。
耐用年数到来後の校舎の扱いの説明がない。

		魚島小	岩城小
校舎	延床面積	1857.07㎡	2863.98㎡
	建築年	S39.3	S42.5
	耐用年数	60年(47年)	60年(47年)
	更新年	R7(H22) ※H22.11 耐震 補強工事完了	R10(H26) ※H23.1 耐震 補強工事完了
	屋内運動場 延床場面積	44	440㎡
	運動場面積	1,7	7,220㎡
	普通教室	0室	8室

町内学校施設状況より抜粋

最後の項目、A小・中学校について、あまり議論できていない。A小は、すでに耐用年数(60年)を越えている。現在、A地区出身生徒が中1年で、卒業後は、A地区出身児童

町の施策との矛盾 2

魚島は地域コミュニティの維持のため、全校生徒7名の学校を存続させている町の方針に、このたびの統廃合の論理はそぐわない。

2. 適正規模・適正配置の基本的な考え方

学校は地域のコミュニティの核として、防災・保育・地域の交流の場等の機能を併せ持ちます。地域の実情により、学校統廃合が困難な場合や小規模校として存続させることが必要な場合もあり、こうした判断も尊重される必要があります。

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引より抜粋

町の施策との矛盾 3

魚島で生徒数7名のさざなみ留学を推進しながら、複式学級を否定することは筋が通らない。

町の施策との矛盾 4

魚島小中の少人数教育は上島町の未来。
情報を求めると「未検討で不存在」と回答

上島町教育委員会教育長 清水 伸

(公印省略)

令和7年10月14日付けで請求がありました公文書の公開については、次のとおりその公文書を保有していないので、通知します。

請求に係る 公文書の内容	②通学バスの運用経路等の試算 ③弓削に統合された場合の、岩城地域の放課後児童クラブの運営体制 ④R4答申書に示されていた義務教育学校や小中一貫校などの検討資料 ⑤魚島小中一貫校の現状と課題 ⑦R4答申書にある学校運営協議会の意見聴取について日程案など ⑧準備委員会の委員はどのように決まるのか ⑨準備委員会で決める内容
公文書を保有してい ない理由	未検討のため
	上島町教育委員会事務局 学校教育課



一人ひとりを大切にしながら一つに決める

知る

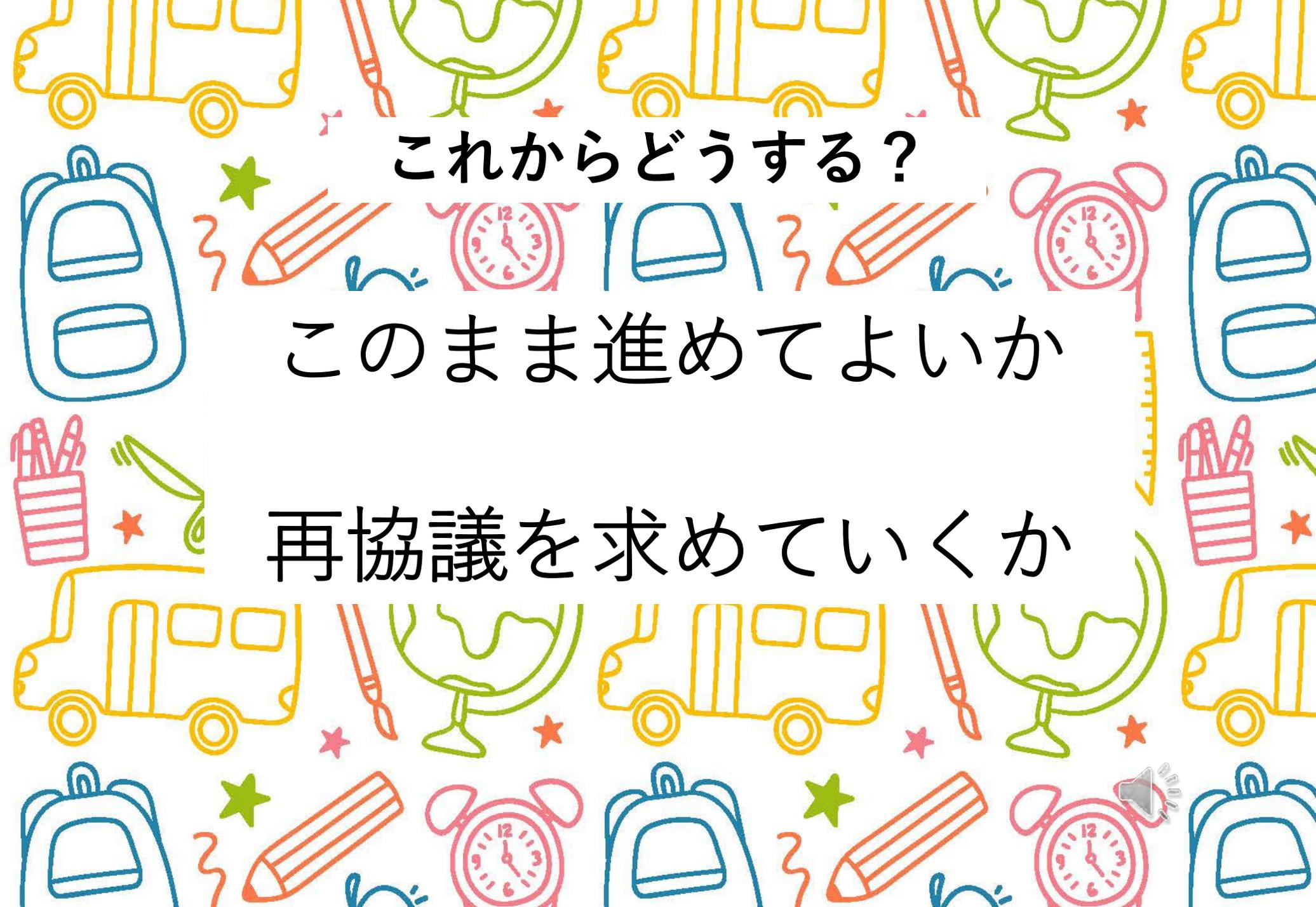
町は、町民が考えるために**必要情報**を提供し、十分説明すべき。

考える

情報をもとに考えた**保護者・子ども・地域住民の意見**をアンケートで共有。

話し合う

十分な話し合いを経た多数決（民主主義）と、個人の著しい不利益や不平等の対応（個人の尊重）



これからどうする？

このまま進めてよいか

再協議を求めていくか

これからどうする？

このまま進める

- ・事務局からは「準備委員会は事務方で構成する」との発言も。
- ・みなさんの意見や要望が聞き流されないか、経過を注視。

再協議を求める

- ・進め方に問題があり、町の方針に矛盾がある。再協議を求めていく道も。
- ・保護者から再協議を求めたら、さすがに教育委員会も無視できないはず。



いずれにしても大切なことは 「知る・考える・話し合う」こと

町内の小規模先進校
魚島小中

複式学級
の工夫事例

発達障害
増えている
のはなぜ？

いじめ問題に対する
様々な施策

不登校
今どきの
向き合い方

**こども基本
本法**って？

具体的なテーマを通じて、望ましい教育環境を
みんなで考えてみませんか？



ご清聴ありがとうございました

<https://localdem.com>

ローカルデモクラシー研究所 壬生優子

